

simc News Letter

Sendai International Music Competition

2023年11月20日号

仙台国際音楽コンクールニュースレター

第8回仙台国際音楽コンクールピアノ部門第4位ジョンファン・キム出演

仙台ニューフィルハーモニー第74回定期演奏会演奏評

須永 誠(フリーライター)



提供：仙台ニューフィルハーモニー管弦楽団

仙台ニューフィルハーモニー第74回定期演奏会

日時：2023年11月3日(金・祝) 17:30 開演

会場：東京エレクトロンホール宮城 大ホール

指揮：新田ユリ

ピアノ：ジョンファン・キム

曲目：グリンカ：歌劇「ルスランとリユドミラ」序曲

ラフマニノフ：ピアノ協奏曲 第2番 ハ短調

カリニコフ：交響曲 第1番 ト短調

第8回仙台国際音楽コンクールのピアノ部門で第4位に入賞したジョンファン・キム(ドイツ)がコンクール後初めて仙台を訪れ、アマチュアオーケストラ、仙台ニューフィルハーモニー管弦楽団の第74回定期演奏会にソリストとして出演した(2023年11月3日、東京エレクトロンホール宮城)。曲目はラフマニノフのピアノ協奏曲第2番。非の打ちどころのない技巧と変幻自在な音色を駆使してラフマニノフの本質に切り込み、ほぼ満席の聴衆に新鮮な衝撃を与えた。

キムは第8回コンクールの本選で同じラフマニノフのピアノ協奏曲第3番に挑み、力強く叙情性豊かな演奏を聴かせたが、この日の第2番は、それを凌駕していたと思う。23歳の若者の成長ぶりには、ただただ驚くばかりだ。ピアノが持つ表現の可能性を絶えず、真摯に追求し続けてきたのだろう。第8回コンクールの後、23年7月にシドニー国際ピアノコンクールで優勝し、オーケストラとの共演も重ねた。こうした経験も急成長につながったのか。

第1楽章冒頭の8つの和音を聴いただけで、キムの強固な主張が伝わってくる。重々しさを排除しつつ、曲の荘厳さは損なわない。透明感のある音、説得力のあるクレシェンド。提示部に入ると個性は一層際立つ。流れるようなフレーズでもアクセントを効かせて主旋律をくっきり浮き上がらせる。第2主題は優しく、憂いを帯びた音楽を明晰に描き上げた。

何より印象深かったのは強靱な打鍵と透明感あふれる音色、そしてピアノを豊かに鳴らしていたことだ。強奏部は当然として、ピアノニッシモでも美しく音が通る。叙情性に富む一方、感情の表出が過度になることはない。常に節度を保ち、感傷に陥ることもない。

第2楽章はキムの持ち味が強く出ていた。磨き抜かれた音色で、清らかな叙情を表現していく。音のバランスも絶妙だ。いつまでもこの演奏に浸っていたいと、正直思った。第3楽章はリズムの切れの良さが光る、躍動感あふれる演奏。スケール感も申し分ない。

この日のピアノはシゲルカワイ。カワイの協力で、第8回コンクールで使用した楽器が用意された。選択は成功したと思う。よく鳴っていたし、音色、繊細な表現でもキムが求める音楽をつくりだせた一つの要因になっていたように思う。第8回コンクールでは、演奏した3つの協奏曲のうちモーツァルトとベートーヴェンはカワイを弾いたが、ラフマニノフはスタインウェイだった。その後、経験を積む中で、この楽器との相性の良さに気付いたのかもしれない。

アンコールは何と3曲—モーツァルトのソナタ第16番(ピアノを学ぶ子どもの多くが練習するあの曲!)、ラフマニノフの前奏曲(op.32-3)とショパンの「24の前奏曲」から第7番。サービス精神満点なのに加え、アンコールでも音色の多彩さ、柔軟な音楽性を示した。

指揮は新田ユリ。仙台ニューフィルは1981年創立で、仙台のアマチュアオーケストラの「老舗」的な存在だ。音楽への真摯な姿勢、熱意にあふれ、水準の高い演奏を聴かせた。

仙台国際音楽コンクール入賞者との共演は、仙台市のアマチュアオーケストラとコンクール事務局(仙台市市民文化事業団)との共催で2005年から続けられている。仙台ニューフィルとの共演は今回で5回目。オーケストラにとって、優秀なソリストとの共演は、もちろん演奏力向上につながる。加えてプログラムの幅が広がるという効果もあるようだ。

仙台ニューフィルは今回、カリニコフの交響曲第1番をメインに据えた。何度も候補に挙がっていた曲で、ラフマニノフとの相性の良さからやっとプログラムに載せられたとか。

入賞者とアマチュアオーケストラが共演するこの企画が「楽都」をうたう仙台市の「音楽力」向上に大きな役割を果たしていることを改めて感じた。ジョンファン・キムという成長著しいピアニストを市民に知ってもらおう得難い機会になったことは、言うまでもない。



■お問い合わせ／公益財団法人 仙台市市民文化事業団 仙台国際音楽コンクール事務局

〒981-0904 仙台市青葉区旭ヶ丘3-27-5 Tel:022-727-1872 Fax:022-727-1873 Email:info@simc.jp URL:https://simc.jp

第8回仙台国際音楽コンクール優勝者セッションCD発売予定!

中野りな (ヴァイオリン部門優勝)

FOCD9887

[収録曲]

モーツァルト:ヴァイオリン・ソナタ イ長調 K305

プーランク:ヴァイオリン・ソナタ FP119

イザイ:無伴奏ヴァイオリン・ソナタ 第5番 ト長調 op.27-5

R.シュトラウス:ヴァイオリン・ソナタ 変ホ長調 op.18

[演奏者]

中野りな (ヴァイオリン)

小井土文哉 (ピアノ)



ルウオ・ジャチン (ピアノ部門優勝)

FOCD9888

[収録曲]

フォーレ:ヴァルス・カプリス 第1番 イ長調 op.30

フォーレ:ノクターン 第6番 変ニ長調 op.63

スクリャーピン:ピアノ・ソナタ 第7番 op.64 「白ミサ」

シューマン:ピアノ・ソナタ 第1番 嬰ヘ短調 op.11

シュルツ=エヴァラー:ヨハン・シュトラウスの

「美しく青きドナウ」によるアラベスク

[演奏者]

ルウオ・ジャチン (ピアノ)

定価:2,640円(税込)

発売日:2023年12月6日(水)

販売元:株式会社フォンテック

制作:公益財団法人仙台市市民文化事業団

「野島 稔メモリアル」チケット販売中!

仙台国際音楽コンクール第1回から第7回までピアノ部門審査委員長、2020年からは運営委員長を務め、2022年5月にご逝去された野島稔氏への敬意と感謝の意を込めて、「野島 稔メモリアル」として演奏会を開催します。



©YOKO SHIMAZAKI

もっと教えて野平一郎先生 ～鍵盤楽器の歴史と魅力～

第9回仙台国際音楽コンクールピアノ部門審査委員長 野平一郎先生をお迎えし、鍵盤楽器の変遷や現代ピアノの魅力のお話と、ポジティブオルガン・チェンバロ・ピアノの演奏をお楽しみいただきます。

日時:2024年3月30日(土) 14:00 開演

会場:日立システムズホール仙台 コンサートホール

曲目:J.S. バッハ:平均律クラヴィーア曲集 第1巻より
J.S. バッハ:ゴルトベルク変奏曲 BWV988 アリア

本公演をより深く理解していただくために、事前レクチャーを開催します。

日時:2024年1月21日(日) 14:00 開演

会場:仙台中央音楽センター IVy HALL

申込方法:事前申込(入場無料)

申込締切:2024年1月4日(木)

※申込フォーム・往復はがきのいずれかからお申込ください。



申込フォーム



©kisekimichiko



中野りな&ルウオ・ジャチン デュオリサイタル

～第8回仙台国際音楽コンクール優勝者による夢の共演～

2022年第8回コンクールの覇者、2人によるスペシャルコンサート。

同一回の優勝者による夢の共演が、仙台で実現します。

日時:2024年3月31日(日) 14:00 開演

会場:日立システムズホール仙台 コンサートホール

曲目:シューマン:ヴァイオリン・ソナタ 第1番 イ短調 op.105

サン=サーンス:ヴァイオリン・ソナタ 第1番 二短調 op.75 ほか

詳しくは仙台国際音楽コンクール公式サイトをご覧ください。

仙台国際音楽コンクール公式サイト

